

ご近所付き合い

頼み事・頼まれ事調査

昭和61年9月

ポーラ文化研究所

<調 査>

1. 調査の趣旨

「隣は何をする人ぞ」ではないが、都市化が進むに従って近所付き合いが疎遠になる傾向にあるといわれている。その一方で、地域コミュニティ活動も活発化しており、「遠くの身内より近くの他人」の親密性強化の必要も強調されている。

こうした中でご近所付き合いの状況はどうか。特に現実的にお世話になったりお世話をしたりという「頼み事・頼まれ事」について、男性に比べれば地域密着型の生活をしている女性達の有り様を調べてみた。

2. 調査の概要

- 調査対象……首都圏在住の女性 268名
- 調査時期……昭和61年8月
- 調査方法……アンケート方式

3. 回答者の属性

イ. 年齢

19歳以下	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	合 計
1	19	37	49	41	31	33	57	268人
0.4	7.1	13.8	18.3	15.3	11.6	12.3	21.3	100.0%

ロ. 仕事

学 生	会社勤務・公務員	自家営業	専業主婦	無 職	その他	NA	合 計
2	99	14	126	7	17	3	268人
0.7	36.9	5.2	47.0	2.6	6.3	1.1	100.0%

ハ. 住居

一戸建	管理人のいる マンション	管理人のいない マンション	アパート	その他	合 計
168	51	27	20	2	268人
62.7	19.0	10.1	7.5	0.7	100.0%

二. 家族数

自分1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	NA	合計
28	34	53	97	35	20	1	268人
10.4	12.7	19.8	36.2	13.1	7.5	0.3	100.0%

ホ. 未婚

既婚（子供あり）	既婚（子供なし）	未婚	NA	合計
168	22	76	2	268人
62.7	8.2	28.4	0.7	100.0%

<お問い合わせ先>

●ボーラ文化研究所（村沢または藤井）

<結果の要約>

1. 近所同志、やはり、世話を掛け合う関係の方が好ましい

全体的にいても、年齢層別、仕事別、未婚別にも、総て「近所同志、やはり、世話を掛け合う関係の方が好ましい」と考える傾向が強い。

年齢別では、35～39歳の層が一番そう考える傾向が強い。仕事別では専業主婦の方が勤めを持つ女性より「世話を掛け合うこと」に肯定的である。

未婚別では、肯定度合いが、「既婚（子供あり）」、「既婚（子供なし）」「未婚」の順で低くなっていく。

2. 比較的軽い頼み事・頼まれ事が近所付き合いの中心

留守中の一寸した頼み事・頼まれ事はよくするのであるが、金銭や物品の貸借、保証、比較的手間のかかることは、余り頼んだり頼まれたりしていない。

3. 自分の方が世話をする側にあるという感じを持つ

4. 世話を掛け合うことについての考え方は、実際の事例に反映している

「世話を掛け合うこと」についての肯定派は、実際に他の人に「してあげる」ことも多く、「してもらうこと」も多い。否定派はその逆。

1. 近所同志、やはり、世話を掛け合う関係の方が好ましい

近所同志、世話を掛け合う方が好ましいと思うか好ましくないと思うか、いわゆる近所付き合いに対しての基本的姿勢について聞いた結果を年齢別、仕事別、未婚既婚別にみると次のようになる。

イ. 年齢層別（但し、19歳以下は対象者が1名だけなので、24歳以下に含めて集計した）

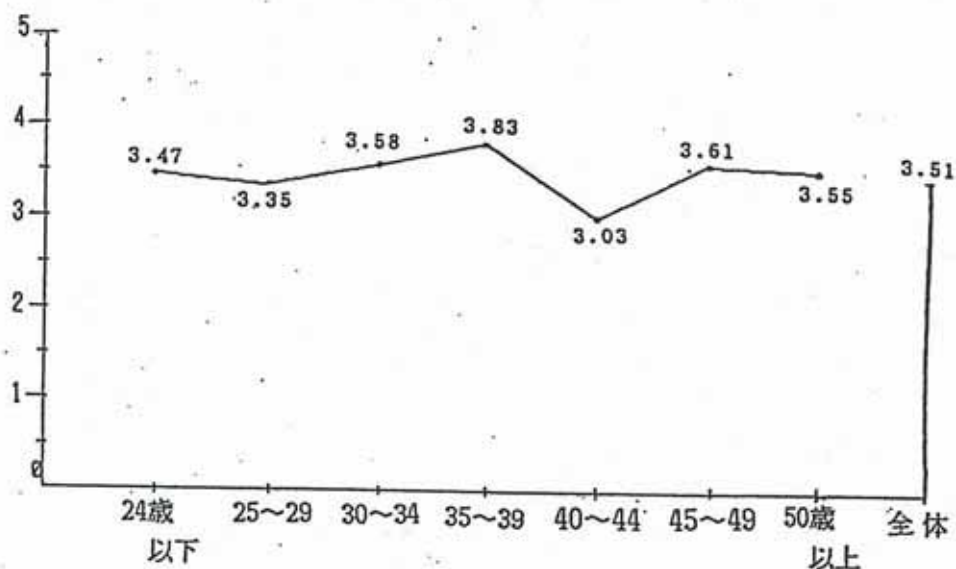
質問 年齢	世話を掛け合う方がいい		どちらとも いえない	世話を掛け合わない方がいい		NA	合 計
	全くその通り	ややその通り		ややその通り	全くその通り		
24歳 以下	1 5.0	8 40.0	9 45.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	20人 100.0%
25～29	4 10.8	10 27.0	20 54.1	1 2.7	2 5.4	0 0.0	37人 100.0%
30～34	9 18.4	19 38.8	12 24.5	7 14.3	1 2.0	1 2.0	49人 100.0%
35～39	10 24.4	18 43.9	7 17.1	5 12.2	0 0.0	1 2.4	41人 100.0%
40～44	3 9.7	7 22.6	11 35.5	6 19.4	3 9.7	1 3.2	31人 100.0%
45～49	4 12.1	14 42.4	11 33.3	1 3.0	1 3.0	2 6.1	33人 100.0%
50歳 以上	16 28.1	12 21.1	17 29.8	9 15.8	2 3.5	1 1.8	57人 100.0%
合 計	47 17.5	88 32.8	87 32.5	30 11.2	9 3.4	7 2.6	268人 100.0%

これを

世話を掛け合う方がいい	{ 全くその通り……5点
	{ ややその通り……4点
どちらともいえない	……3点
世話を掛け合わない方がいい	{ ややその通り……2点
	{ 全くその通り……1点

とし、年齢層別に平均点を出すと次のようになる。

(注) NAは集計から除外



これによると40～44歳の層が、一寸、特異な動きを示しているがこれは調査結果のブレと思われる。全体としても、各年齢層別にも、近所同志は世話をしたり、世話をされたりした方がいいという結論であるが、そのピークは、35～39歳の層にあって、この年齢層が一番近所同志の交流が高いと想定される。

ロ. 仕事別

質問 仕事	世話を掛け合う方がいい		どちらとも いえない	世話を掛け合わない方がいい		NA	合 計
	全くその通り	ややその通り		ややその通り	全くその通り		
学 生	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2人 100.0%
会社勤務 公務員	17 17.2	30 30.3	39 39.4	11 11.1	2 2.0	0 0.0	99人 100.0%
自家 営業	3 21.4	3 21.4	2 14.3	2 14.3	2 14.3	2 14.3	14人 100.0%
専業 主婦	23 18.3	45 35.7	38 30.2	12 9.5	4 3.2	4 3.2	126人 100.0%
無 職	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	7人 100.0%
その他	2 11.8	7 41.2	5 29.4	3 17.6	0 0.0	0 0.0	17人 100.0%
NA	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3人 100.0%
合 計	47 17.5	88 32.8	87 32.5	30 11.2	9 3.4	7 2.6	268人 100.0%

ここでは仕事を持った女性（会社勤務・公務員）と専業主婦との比較が興味の対象となるが、前項と同様の配点をして平均点を出すと、

会社勤務・公務員……3.49

専業主婦……………3.58

となる。

仕事を持つ女性の方が専業主婦よりは年齢構成が若いので、前項の結果からいえば当然といえるが、やはり専業主婦の方が近所と親密な関係を保っているといえそうである。

ハ．未既婚別

質問 未既婚	世話を掛け合う方がいい		どちらとも いえない	世話を掛け合わない方がいい		NA	合 計
	全くその通り	ややその通り		ややその通り	全くその通り		
既 婚 (子供あり)	33 19.6	58 34.5	48 28.6	18 10.7	6 3.6	5 3.0	168人 100.0%
既 婚 (子供なし)	2 9.1	11 50.0	6 27.3	2 9.1	1 4.5	0 0.0	22人 100.0%
未 婚	11 14.5	19 25.0	33 43.4	10 13.2	1 1.3	2 2.6	76人 100.0%
NA	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2人 100.0%
合 計	47 17.5	88 32.8	87 32.5	30 11.2	9 3.4	7 2.6	268人 100.0%

年齢層別、仕事別の結果から推定がつくのだが、近所付き合いの未既婚別平均点は

既婚（子供あり）……3.58

既婚（子供なし）……3.50

未婚 ……3.39

というスコアになり、「既婚（子供あり）」の人々が一番近所付き合いで世話を掛け合うことに肯定的である。

2. 比較的軽い頼み事・頼まれ事が近所付き合いの中心

ところで近所の人たち（但し、親戚でなく他人という条件をつけた）との間で、具体的に「してあげたり、頼まれたりすること」あるいは「してもらったり、頼んだりすること」について、次の13項目を掲げて、その有無を尋ねた。

1. 手に入りにくいものや特別に安いものを手に入れるため紹介したり、されたりすること
2. 和裁や洋裁、手芸品などを作ってあげたり、作ってもらったりすること
3. ついでに買物をしてあげたり、してもらったりすること
4. 留守中の伝言を頼んだり、頼まれたりすること
5. 親戚や知人の縁談や就職などの仲介や紹介を頼んだり、頼まれたりすること
6. たまたま、調味料やお米などが切れたため、貸したり、借りたりすること
7. 入院の際などの、ほとんど形式的な保証人になったり、なってもらうこと
8. 1万円程度のお金を一時的に用立てたり、用立ててもらうこと
9. 留守中の届物の受け取りやゴミ捨てをあらかじめ依頼したり、されたりすること
10. 改まった外出のために礼服やハンドバッグ、アクセサリーなどを貸したり、借りたりすること
11. 料理などを作ってあげたり、作ってもらうこと
12. 子供の預り、食事の世話など、一時的に家族の面倒をみてあげたり、みってもらうこと
13. ローンの保証人など、金銭的な責任のある保証人を頼んだり、頼まれたりすること

イ. 留守中の一寸した頼み事・頼まれ事が主となる近所付き合い

このうち、まず「してあげること」が「してあげることがないこと」より1.5倍以上になっている項目と、「してもらうこと」が「してもらわないこと」より1.5倍以上になっている項目を拾うと、次のような2項目となる。なお、「してあげること」と「してもらうこと」は同じ項目になった。

世話の有無 質 問	してあげる			してもらう		
	あ り	な し	有/無	あ り	な し	有/無
4. 留守中の伝言を頼んだり、頼まれたりすること	186 ^人	79 ^人	2.35 ^倍	177 ^人	86 ^人	2.06 ^倍
9. 留守中の届物の受け取りやゴミ捨てをあらかじめ依頼したりされたりすること	182	80	2.28	166	97	1.71

つまり、留守中の伝言、届物の受け取りなど一寸したサービスの用件が近所同志の頼み事・頼まれ事の中心的なものであり、よくしてあげたり、してもらったりすることであることがわかる。

ロ. 金銭・物品の貸借、保証、手間のかかることは世話を掛け合わない

これに対して、逆に「なし」が「あり」より、1.5倍以上になる項目を拾うと、次のようになり、ここでも「してあげないこと」と「してもらわないこと」の項目は一致している。

世話の有無 質 問	してあげる			してもらう		
	あ り	な し	無/有	あ り	な し	無/有
2.和裁や洋裁、手芸品などを作ってあげたり、作ってもらったりすること	78 ^人	174 ^人	2.23 ^倍	103 ^人	156 ^人	1.51 ^倍
5.親戚や知人の縁談や就職などの仲介や紹介を頼んだり、頼まれたりすること	43	218	5.07	38	222	5.84
6.たまたま調味料やお米が切れたため、貸したり、借りたりすること	91	168	1.85	84	181	2.15
7.入院の際などの、ほんの形式的な保証人になったり、なってもらうこと	35	226	6.46	33	230	6.97
8.1万円程度のお金を一時的に用立てたり、用立ててもらうこと	55	207	3.76	42	219	5.21
10. 改まった外出のための礼服やハンドバック、アクセサリなどを貸したり借りたりすること	42	223	5.31	28	237	8.46
12. 子供の預かり、食事の世話など、一時的に家族の面倒をみてあげたり、みてもらうこと	95	169	1.78	77	186	2.42
13. ローンの保証人など、金銭的な責任のある保証人を頼んだり、頼まれたりすること	8	255	31.88	3	260	86.67

以上の8項目が近所同志で頼まれたり、頼んだりしない事柄の代表であるが、「金銭的なものがからむ事柄や縁談・就職を含めて人柄などを保証する内容を持つ事柄（質問5.7.8.13）」及び「比較的高価な物品の貸借（質問10）」については、極めて疎遠な関係にある。これに対し、「サービスのな内容をもつ事柄（質問2.12）」や「日常的物品の一時的貸借（質問6）」は、まだ、その機会が多いといえる。しかし、これらでも、頼まれたり、頼んだりしない事柄の代表に入るぐらいであるから、昔風の「向う三軒両隣」的雰囲気は出てこないし、ましてや、横丁の世話好きなどが飛出す余地は少ないように思われる。

ハ. 一寸した情報サービス、一時的な技能・労力提供は有無が拮抗

次に、「あり」と「なし」が比較的拮抗している項目を挙げてみよう。

世話の有無 質問	してあげる			してもらう		
	あり	なし	有/無	あり	なし	有/無
1. 手に入りにくいものや特別に安いものを手に入れるため紹介したり、されたりすること	人 144	人 113	倍 1.27	人 146	人 115	倍 1.27
世話の有無 質問	してあげる			してもらう		
	あり	なし	無/有	あり	なし	無/有
3. ついでに買物をしてあげたり、してもらったりすること	人 112	人 148	倍 1.32	人 104	人 154	倍 1.48
11. 料理などを作ってあげたり、作ってもらうこと	127	135	1.06	127	140	1.10

このように3項目であるが、「ついでに買物をしてあげたり、してもらったりすること」で近所同志が頼り合うことは比較的少なく、特に「してもらう」がない人がかなり多い（「なし」は「あり」の約1.5倍）。

いずれにせよ、一寸した情報サービス（質問1）や一時的な技能・労力提供（質問3.11）が中心で、手の掛かるもの（例えば、同じ技能サービスでも前記のような和裁・洋裁・手芸品のように手間がかかったりするようなこと）は、お互に頼んだり、頼まれたりすることを避ける傾向にあるようである。

☆

☆

このように、全体的には、ご近所同志、世話を掛けたり、掛けられたりの関係が望ましいと考えるものの、その世話の内容になると

- 金銭や物品の貸借、人物の保証、比較的手間のかかることは避ける傾向にあり、
 - 比較的手間のかからず、負担の少ない一時的なものが中心
- ということになり、比較的軽い頼み事・頼まれ事が近所付き合いの中心になっている。

3. 自分の方が世話をする側にあるという感じを持つ

ところで、人間というのは勝手なもので、「してあげる」方は強く印象に残っているが「してもらう」方は余り印象に残らないのではないかという仮説がある。

この点の検証のために前掲の倍率によって、

- 「あり」が「なし」を上回っていて、かつ「してあげる」方の倍率が「してもらう」方の倍率より少なくなる項目
- 「なし」が「あり」を上回っていて、かつ「してあげる」方の倍率が「してもらう」方の倍率より多くなる項目

を挙げると、13項目中、1項目のみしかなく、もう1項目のみが同等の倍率であった。それは質問2及び質問3で、次のようになる。

	してあげる 無/有	してもらう 無/有
2.和裁や洋裁、手芸品などを作ってあげたり、作ってもらったりすること	2.23 ^倍 > 1.51 ^倍	
	してあげる 有/無	してもらう 有/無
3.手に入りにくいものや特別に安いものを手に入れるため紹介したり、されたりすること	1.27 ^倍 = 1.27 ^倍	

つまり、人々は上記2項目を除いた殆どのことについて、よくしてあげるかしてもらうかは別として自分がしてあげることの方が自分がしてもらうことより多いという感じを持っているのであって、本来「助けられたり助けたり」のご近所付き合いでも、自分は「助ける方にまわっている」という意識が強いのである。

なお、「和裁や洋裁、手芸品」についてだけ、他と違った結果が出たのは、これについて、特別の技術や技能が必要で「自分にはできないこと」について「助けられた」という印象が強いためと推測できる。

また、「作ってもらったもの」が手元に長く残るので「作ってもらった」という記憶が残るためともいえそうである。

4. 世話を掛け合うことについての考え方は、実際の事例に反映している

ご近所付き合いについての考え方によって、具体的に「してあげること」と「してもらふこと」の状況が変るわけであるが、以下は、それについてみた結果である。

イ. 「してあげる」場合

まず、考え方別に、「してあげる」ことの有無の人数を質問 1～13についてみたのが次の表である。

考え方→		世話を掛け合う方がいい						どちらとも いえない			世話を掛け合わない方がいい					
		全くその通り			ややその通り						ややその通り			全くその通り		
質問	「してあげる」 場合→	あ	な	比率	あ	な	比率	あ	な	比率	あ	な	比率	あ	な	比率
		り	し		り	し		り	し		り	し		り	し	
質問 1		31	11	74	56	31	64	37	48	44	13	15	46	3	5	38
2		25	20	56	17	65	21	24	61	28	7	19	27	2	6	25
3		22	21	51	44	41	52	31	56	36	9	20	31	3	6	33
4		39	8	83	67	20	77	55	32	63	18	11	62	4	5	44
5		11	34	24	15	71	17	10	76	12	5	24	17	1	8	11
6		23	22	51	34	52	40	24	60	29	6	23	21	2	7	22
7		10	35	22	14	71	16	6	81	7	2	27	7	2	7	22
8		14	31	31	17	69	20	13	73	15	7	22	24	1	8	11
9		34	12	74	68	18	79	52	34	60	19	10	66	4	5	44
10		14	33	30	10	77	11	10	76	12	3	26	10	3	6	33
11		29	16	64	50	37	57	37	50	43	6	22	21	2	6	25
12		24	22	52	37	49	43	23	64	26	8	21	28	1	8	11
13		2	42	5	2	85	2	3	84	3	1	28	3	0	9	0

(注) 比率については、「世話を掛け合うこと」についてのそれぞれの考え方毎に、各質問についての回答総数（NAは除く）中、「あり」が何%になるかで示した。

例えば、「世話を掛け合う方がいい」について「全くその通り」と答えた人は質問 1 に対し「あり」31人、「なし」11人となっているので、総数（31人+11人=42人）のうち、「あり」31人が約74%となる。

この表から、考え方による差が歴然としていることがわかるが、前表から更に近所付き合いについての考え方別に50%以上の比率を示した質問項目を拾うと

考え方→ 前表で50% 以上の比率があった質問	世話を掛け合う 方がいい		どちら ともい えない	世話を掛け合わ ない方がいい	
	全くそ の通り	ややそ の通り		ややそ の通り	全くそ の通り
1.手に入りにくいものや特別に安いものを手に入るため紹介したり、されたりすること	% 74	% 64	%	%	%
2.和裁や洋裁、手芸品などを作ってあげたり、作ってもらったりすること	56	(21)	(28)	(27)	(25)
3.ついでに買物をしてあげたり、してもらったりすること	51	52			
4.留守中の伝言を頼んだり、頼まれたりすること	83	77	63	62	
6.たまたま、調味料やお米が切れたため、貸したり、借りたりすること	51				
9.留守中の届物の受け取りやゴミ捨てをあらかじめ依頼したり、されたりすること	74	79	60	66	
11.料理などを作ってあげたり、作ってもらうこと	64	57			
12.子供の預かり、食事の世話など、一時的に家族の面倒をみてあげたり、みてもらうこと	52				

となり、そのことがよりはっきりする。

なお、「質問2」については、上表（ ）内に50%未満の%を示したが、「世話を掛け合う方がいい→全くその通り」と考えている人の「してあげる率」が断然高く、和裁、洋裁、手芸品などを作る技術や技能をもって、近所付き合いでその腕を揮っている様子が目に見えるようである。

ロ. 「してもらおう」場合

「してあげる」場合と同様の方法でみたのが次の表である

考え方→ 質問	世話を掛け合う方法がいい						どちらとも いえない			世話を掛け合わない方がいい					
	全くその通り			ややその通り						ややその通り			全くその通り		
	あ り	な し	比率	あ り	な し	比率	あ り	な し	比率	あ り	な し	比率	あ り	な し	比率
質問 1	32	13	71	54	32	63	40	46	47	13	16	45	4	5	44
2	25	16	61	36	50	42	30	56	35	7	23	23	2	7	22
3	25	20	56	38	46	45	28	58	33	8	20	29	3	6	33
4	35	11	76	65	20	76	49	37	57	22	8	73	3	6	33
5	10	34	23	18	68	21	6	78	7	2	28	7	1	8	11
6	23	23	50	30	57	34	23	63	27	4	26	13	2	7	22
7	9	36	20	12	73	14	6	81	7	3	27	10	2	7	22
8	12	33	27	13	71	15	8	79	9	5	24	17	2	7	22
9	30	15	67	66	21	76	41	45	48	21	9	70	4	5	44
10	10	35	22	9	78	10	5	82	6	0	30	0	2	7	22
11	31	16	66	50	37	57	33	54	38	7	23	23	3	6	33
12	23	22	51	29	57	34	18	68	21	4	26	13	1	8	11
13	0	44	0	1	85	1	1	86	1	0	30	0	1	8	11

前項と同様に50%以上の比率を示した質問項目をピックアップすると、全く同じ質問項目となり、個々の比率には多少の相違はあるものの、概して、似たような傾向があるといつてよい。

☆

☆

つまり、「世話を掛け合うこと」についての肯定派は、実際にも他の人に「してあげる」ことも多く、「してもらおう」ことも多いという人間関係を持っているのに対し、否定派はその逆になるのである。

以 上